

報道関係各位

2017年2月23日

花粉やPM2.5の侵入を抑制し、健康・快適な暮らしをサポート 大東建託オリジナル「給気口用フィルター」の試行運用を開始

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、花粉やPM2.5の住宅侵入を抑制する「給気口用フィルター」をオリジナルで開発し、2017年2月1日より試行運用を開始。6カ月間の試行運用期間を経たのち、製品の回収・検査を行い、その結果をふまえ2017年10月以降より、当社が新たに建築する賃貸住宅で導入を開始しますのでお知らせします。

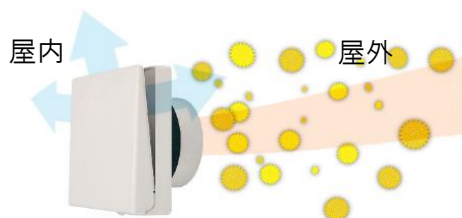
■当社の賃貸住宅にて試行運用を開始

日常生活において、日々健康に過ごすためには快適な住環境が必要不可欠です。当社では、入居者様の快適な暮らしをサポートするため、近藤靖史教授(東京都市大学)指導のもと、住宅の性能向上に関する研究開発を2014年より行ってきました。そして2017年2月、当社が管理する賃貸住宅(6地域・25住居)で、当社オリジナルの「給気口用フィルター」の試行運用を実施することとなりました。

■大東建託オリジナル「給気口用フィルター」の特徴

当社オリジナルの「給気口用フィルター」は、従来のフィルターより、除去性能を向上させた二重構造になっています。これにより、花粉やPM2.5の除去率が上がることを期待しています。

【フィルターによる花粉・PM2.5除去イメージと期待値】



花粉期待除去率 : 90%以上

PM2.5期待除去率 : 90%以上

※花粉はスギ花粉粒子20μm～40μm、PM2.5は粒子2.0μm以上を想定

■東京都市大学工学部建築学科 近藤靖史教授コメント

室内の空気をクリーンにする方法として、市販されている空気清浄機を設置する方法や、換気装置に花粉・PM2.5を除去できるフィルターを内蔵する方法があげられます。

大東建託による方式は、給気口に性能を高めたフィルターを設置し、外の空気を給気口にてクリーンにした上で室内の排気ファンにより導入します。この方式で効率良く室内をクリーンな空気に保持できます。また、給気と排気の両方をファンで行う換気システムに比べコストを大幅に抑えることができ省施工化が可能となります。

賃貸住宅における「健康住宅」の取り組みとして価値ある研究開発だと思えます。

<近藤靖史教授 経歴>

- 1983年 神戸大学大学院工学研究科環境計画学専攻修了。
日建設計に入社し、設備計画・環境計画を担当。
- 1994年 日建設計を退職後、武蔵工業大学工学部建築学科助教授に就任。
- 2002年 現職(2009年に校名変更)に就任。
- 1989年、1995年、2003年に空気調和・衛生工学会 論文賞を受賞。
- 1996年 省エネルギー建築賞 建設大臣賞を受賞。
- 2014年 日本建築学会(論文賞)を受賞。



<本件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社 経営企画室 畑中・和賀 E-MAIL:he072032@kentak.co.jp TEL:03-6718-9174